



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 日本ピグメント株式会社

コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 加藤 龍巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 今井 信一

TEL 03-6362-8801

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	32,565	6.5	138	△55.7	168	△51.7	126	△54.9
26年3月期第3四半期	30,578	2.6	311	△32.7	349	△31.9	280	295.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 602百万円 (△33.7%) 26年3月期第3四半期 908百万円 (591.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	8.05	—
26年3月期第3四半期	17.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	27,753		11,917			39.8
26年3月期	25,513		11,414			41.5

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 11,058百万円 26年3月期 10,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	8.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,300	3.1	350	△39.5	480	△25.8	310	△42.3	19.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	15,758,994 株	26年3月期	15,758,994 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	51,495 株	26年3月期	48,417 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	15,709,132 株	26年3月期3Q	15,711,509 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融政策の効果により輸出関連企業を中心に企業収益が改善し回復傾向にはあるものの、消費税率引き上げに伴う個人消費低迷の長期化や原材料価格の高止まり等の影響による景気の下振れも懸念され、不透明な状況が続いております。

このようななか当社グループの国内での販売は、自動車産業向けにおいては、昨夏以降は生産台数の減少も持ち直しつつあり回復傾向にはありますが、家電産業向けの一部においては想定を大幅に下回ることとなりました。また、東南アジア地区の販売は、インドネシアでの底固い需要はあるものの、他地域においては伸び悩みもあり、全体としては想定を下回りました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は32,565百万円(前期比6.5%増)となりましたが、とりわけ樹脂用着色剤の販売の伸び悩みと販売商品構成の悪化により、経常利益は168百万円(前期比51.7%減)、四半期純利益は126百万円(前期比54.9%減)となりました。

② 企業集団のセグメント別の状況

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

日本は、自動車産業向けは輸出用等一部には堅調さもみられましたが、国内向けでは個人消費の低迷による需要回復の遅れもあり、特に家電産業向け等で大幅に予想を下回ることとなり、全体としては非常に厳しい状況となりました。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチック、建材産業向けが堅調に推移致しましたが、想定までには至りませんでした。樹脂用着色剤部門は、国内需要が伸び悩む中、一部の自動車産業向けや建材産業向けが比較的堅調に推移したものの、家電産業向けの不調から全体としては低調な結果となっております。最後に、加工カラー部門は、建材産業向けは比較的堅調に推移しましたが、自動車産業向けは販売が伸び悩んだこともあり、全体では想定までには至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,241百万円(前期比5.1%増)となりましたが、商品構成の悪化により営業損失としては52百万円(前期営業利益53百万円)を計上することとなりました。

東南アジア

東南アジアは、タイ、中国向け輸出の不冴え等で受注が伸び悩んだものの、インドネシアでは国内需要に支えられ、OA関連向け、自動車関連向けが比較的順調に推移しました。第3四半期連結累計期間の売上高は、為替の影響から13,397百万円(前期比5.8%増)となりましたが、汎用製品の比率が比較的高かったこともあり、営業利益は195百万円(前期比21.9%減)となりました。

その他

その他は、中国での日系自動車関連の受注回復により、当第3四半期連結累計期間の売上高が926百万円(前期比67.5%増)となりましたが、汎用製品の比率が比較的高かったことや一時的な経費増により、営業損失4百万円(前期営業利益7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は27,753百万円と前期末の25,513百万円に比べ2,240百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は14,356百万円と前期末の13,134百万円に比べ1,222百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が420百万円、受取手形及び売掛金が555百万円、製品が261百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は13,397百万円と前期末の12,379百万円に比べ1,018百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が253百万円減少したものの、投資有価証券が1,283百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は15,835百万円と前期末の14,099百万円に比べ1,736百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は11,640百万円と前期末の10,642百万円に比べ997百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が1,133百万円増加したことなどによるものです。固定負債は4,195百万円と前期末の3,456百万円に比べ738百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が増加したことなどによるものです。また、純資産合計は11,917百万円と前期末の11,414百万円に比べ503百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期における通期の業績予想につきましては、平成26年10月23日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率をとる方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が50,692千円減少し、利益剰余金が32,949千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,636,554	3,057,024
受取手形及び売掛金	6,712,542	7,268,066
製品	1,838,029	2,099,547
原材料及び貯蔵品	1,507,927	1,552,642
その他	439,579	380,052
貸倒引当金	△305	△897
流動資産合計	13,134,328	14,356,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,201,095	3,059,895
土地	3,657,315	3,654,498
その他(純額)	1,867,977	1,758,193
有形固定資産合計	8,726,387	8,472,586
無形固定資産	60,388	63,151
投資その他の資産		
投資有価証券	3,065,565	4,348,860
その他	553,336	528,344
貸倒引当金	△26,336	△15,508
投資その他の資産合計	3,592,565	4,861,696
固定資産合計	12,379,342	13,397,434
資産合計	25,513,671	27,753,872
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,394,452	6,528,296
短期借入金	3,961,656	3,942,216
未払法人税等	59,225	29,870
賞与引当金	198,848	125,825
その他	1,028,558	1,014,070
流動負債合計	10,642,742	11,640,280
固定負債		
長期借入金	2,234,172	2,915,792
繰延税金負債	639,561	797,361
役員退職慰労引当金	72,948	67,501
退職給付に係る負債	510,165	414,969
固定負債合計	3,456,847	4,195,624
負債合計	14,099,589	15,835,905

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,047,700
利益剰余金	7,978,477	8,012,330
自己株式	△14,784	△15,545
株主資本合計	10,492,552	10,525,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	662,609	904,603
為替換算調整勘定	△260,112	△109,340
退職給付に係る調整累計額	△298,299	△262,622
その他の包括利益累計額合計	104,198	532,639
少数株主持分	817,330	859,682
純資産合計	11,414,081	11,917,966
負債純資産合計	25,513,671	27,753,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	30,578,544	32,565,975
売上原価	28,136,187	30,215,579
売上総利益	2,442,356	2,350,395
販売費及び一般管理費	2,130,947	2,212,306
営業利益	311,409	138,089
営業外収益		
受取利息	5,136	7,641
受取配当金	49,564	54,068
持分法による投資利益	42,213	18,125
その他	78,603	73,431
営業外収益合計	175,516	153,267
営業外費用		
支払利息	80,358	79,347
その他	57,461	43,506
営業外費用合計	137,820	122,853
経常利益	349,105	168,503
特別利益		
固定資産売却益	6,533	63,599
関係会社清算益	17,434	-
その他	301	-
特別利益合計	24,269	63,599
特別損失		
固定資産除売却損	3,958	17,347
特別損失合計	3,958	17,347
税金等調整前四半期純利益	369,417	214,755
法人税、住民税及び事業税	53,197	36,888
法人税等調整額	24,829	36,102
法人税等合計	78,026	72,991
少数株主損益調整前四半期純利益	291,390	141,764
少数株主利益	10,424	15,176
四半期純利益	280,966	126,587

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	291,390	141,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249,385	241,993
為替換算調整勘定	303,654	167,825
退職給付に係る調整額	-	34,745
持分法適用会社に対する持分相当額	64,468	16,291
その他の包括利益合計	617,507	460,855
四半期包括利益	908,898	602,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853,522	555,028
少数株主に係る四半期包括利益	55,375	47,591

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,361,557	12,663,700	30,025,257	553,286	30,578,544	—	30,578,544
セグメント間の内部 売上高又は振替高	112,358	—	112,358	11,214	123,572	△ 123,572	—
計	17,473,915	12,663,700	30,137,615	564,501	30,702,116	△ 123,572	30,578,544
セグメント利益	53,876	250,440	304,317	7,091	311,409	—	311,409

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,241,444	13,397,881	31,639,325	926,649	32,565,975	—	32,565,975
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149,811	936	150,747	5,393	156,141	△ 156,141	—
計	18,391,255	13,398,817	31,790,073	932,042	32,722,116	△ 156,141	32,565,975
セグメント利益又は損失(△)	△ 52,940	195,622	142,681	△ 4,591	138,089	—	138,089

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の「日本」のセグメント損益への影響は軽微であります。